

私の夏休みの思い出は、部活です。私は美術部で、夏休み前から合唱祭に向けてのパネル作りをしていました。私は木の部分を描く担当で、下書きをするところから始まりました。一点透視法を使って木が光に向かってのびていく様子を表現しなかったのも、角度や中央になるほど小さくなっていくことを意識しました。紙がやぶれてしまうくらい何度も消して直しました。

木の感じを出すために定規を使ってまっすぐな線をひかず、えんぴつで何度も重ねて線を描きました。下書きをするだけなのにすごく時間がかかりました。次に色ぬりをする作業をしました。色をぬるときには必ず三色くらいの色を混ぜた色でぬらないといけません。一度いい色がつくれても次にぬろうとしたときには変わってしまったて、もう一度つくらなければいけないということもあって、大変だったけれど先輩方がどの色を混ぜたらいいかなどのアドバイスをして下さったり、分からないことがあったらすぐ答えて下さったおかげで順調に色をぬっていくことができました。

木の中でも光が当たっているところ、かげで暗くなっているところなどがあります。その明暗の差をつけながらより立体感のある本物に近い木にしようと頑張りました。

私は、制作をしているとき以外でも自分から動くことを意識しました。先輩が筆などをもっていたら自分から、持ちます！と声をかけたり、洗いに行ったりしました。

私は時々行きたくないなと思う日もあったけど、みんなで一生懸命つくってきた作品を最後までやりきりたいという思いや、たくさん進めることができた日には、帰りに行ってよかったなと思うことができたので、毎回部活に参加することができました。

これから、もつと完成に向けて大変になると思うけど来年は先輩になるので今のうちから色々なことを覚えておきたいです。大変なこともあったけどいい夏休みの思い出になりました。

